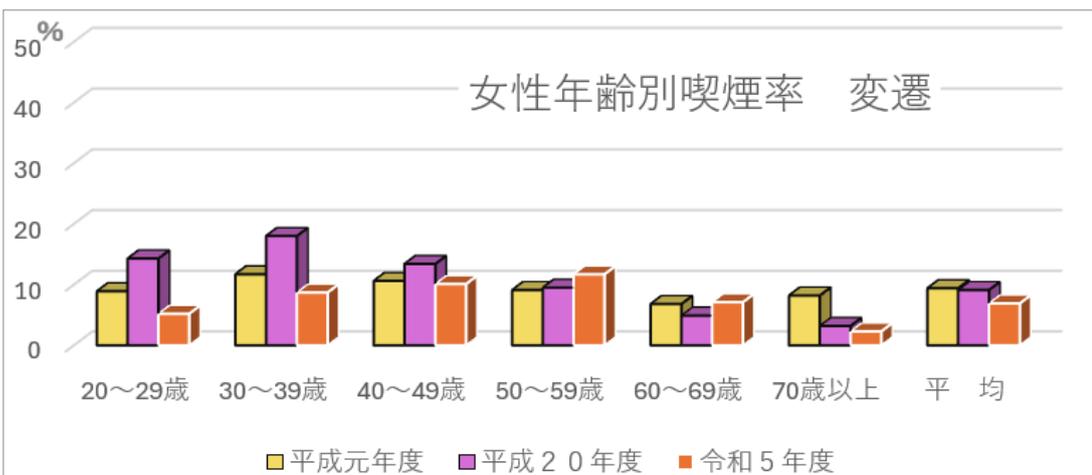
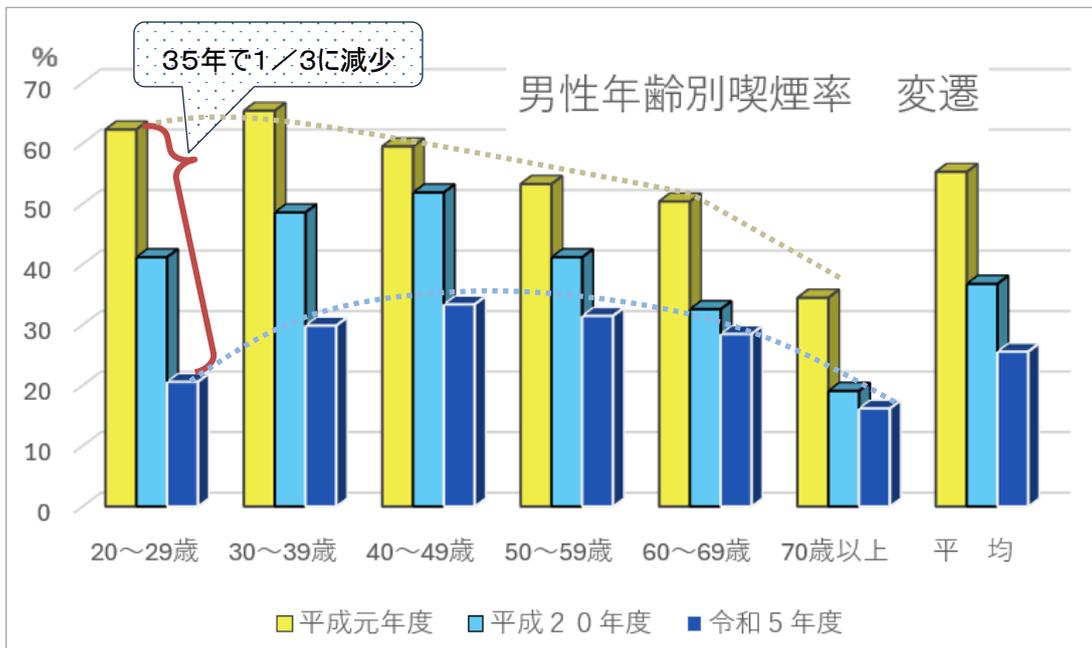


週刊 **タバコの正体**



健康・体づくり事業財団「最新たばこ情報」サイトのデータから作成

49歳をピークにして山型になっているのがわかるでしょうか。このことから若い世代のタバコ離れが加速している事が推測されます。そう思うと年配の喫煙者を見かける事が多いのではないのでしょうか。

タバコを吸い始めるきっかけは好奇心や身近な喫煙者の影響が大きく、20歳前後で吸い始めて一生吸い続けるケースがほとんどでしたが、その傾向が減少してきているわけです。これは、タバコの有害性や不利益などの知識を持った若者が育って来ている結果でもあると思います。皆さんもその一人としてタバコを吸い始めないでください。

左のグラフは厚生労働省の国民健康・栄養調査で公表されている男女それぞれの年齢別の喫煙率の変遷を示しています。

男性の喫煙率が圧倒的に高いのですが、男女とも全体の喫煙率は低下しています。特に男性の低下率は顕著で35年で半減しました。

中でも20歳代の喫煙率が1/3にまで減少していることに注目してください。平成元年度のグラフは右肩下がりですが、令和5年度のグラフは40歳～

産業デザイン科 奥田 恭久